

令和7年度（後学期）授業見学強化週間 授業見学アンケート（最終集計）

令和7（2025）年12月作成

1. あなたのお名前
2. あなたの所属

所属	見学のべ件数	人数
国際文化学科	1	1
長尾直洋		
国際観光産業学科	2	2
仲尾次洋子、卯田卓矢		
スポーツ健康学科	3	3
奥本正、高瀬幸一、石橋千征		
看護学科	3	3
大城凌子、松下聖子、阿部正子		
健康情報学科	5	5
木村堅一、天願健、大城真理子、上門要、具志翔太郎		
看護学研究科（博士後期課程）	0	0
スポーツ健康科学研究科（修士課程）	0	0
リハビリアーツ機構	0	0
臨時的任用教員、教育支援員	1	1
大城莉沙		
非常勤講師	5	5
林由貴子、伊波和子、謝花佐和子、長濱直次、入江優子		
職員	0	0
合計	20	20

3. 見学された授業名をお答えください。

科目名	見学のべ件数
1 日本近代文学概論（小嶋洋輔）	1
2 観光調査法（上原明）	2
3 コーチ学（仲田好邦）	1
4 学校救急看護学（神田奈津子）	1
5 島嶼過疎地看護論（比嘉憲枝）	1
6 グローバルナーシングIII（藤井まい）	11
7 健康情報演習II（PBL）（天願健）	3
合計	20

4. 見学日（実施期間のうち、12月3日(水)は提供科目の開講がない曜日のため項目なし）

見学日	見学のべ件数
12月1日（月）	8
12月2日（火）	2
12月4日（木）	3
12月5日（金） ※録画視聴を含む	7
合計	20

5. 授業見学では、どのような点が参考になりましたか（当てはまるもの全てチェック）

● 日本近代文学概論（小嶋洋輔）		見学のべ数:1人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	0	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	1	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1	
学生への意思伝達のやり方	1	
対話の引き出し方	0	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 観光調査法（上原明）		見学のべ人数:2人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	0	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	2	
学生への意思伝達のやり方	0	
対話の引き出し方	1	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● コーチ学（仲田好邦）		見学のべ人数:1人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	0	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1	
学生への意思伝達のやり方	1	
対話の引き出し方	0	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 学校救急看護学（神田奈津子）		見学のべ人数:1人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	0	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	1	
教材の選択や構造化	1	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1	
学生への意思伝達のやり方	0	
対話の引き出し方	0	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	1	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 島嶼過疎地看護論（比嘉憲枝）		見学のべ人数:1人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	1	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	0	
教材の選択や構造化	1	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	0	
学生への意思伝達のやり方	0	
対話の引き出し方	1	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● グローバルナーシングIII（藤井まい）		見学のべ人数:11人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	4	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	5	
教材の選択や構造化	3	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	4	
学生への意思伝達のやり方	3	
対話の引き出し方	3	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	2	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

● 健康情報演習II（PBL）（天願健）		見学のべ人数:3人
項目	見学のべ件数	
当日の授業目標や学生に求めていることの明確化	2	
学生の知的好奇心や興味の引き出し方	3	
教材の選択や構造化	3	
学生の理解が深まるような授業運営上の工夫	1	
学生への意思伝達のやり方	1	
対話の引き出し方	2	
授業時間外での学習活動を促進する工夫	0	
特に参考になる点はなかった	0	
その他	0	

6. 授業見学の成果をもとに、今後のあなたの授業で取り入れたい工夫があれば、記入してください。

- **日本近代文学概論（小嶋洋輔）** 見学のべ人数:1人

教員が一方的に講義を進めるのではなく、学生に教材（論文）の音読をさせたり、質問を投げかけたりすることで、学生自身が「講義に参加している」という意識を持てるような工夫が見られた。また、スライド資料だけでなく、論文や行政機関のウェブサイトなど多様な文献を活用しており、講義内容と社会とのつながりを意識しやすい構成となっていた。

- **観光調査法（上原明）** 見学のべ人数:2人

発表も、質疑応答も良かったです。スライドの構成も、良かったです。

受講生との対話やディスカッションの促進について

- **コーチ学（仲田好邦）** 見学のべ人数:1人

生成AIを活用したディベートを実践されており、知の創造と活用のバランスが参考になった。

- **学校救急看護学（神田奈津子）** 見学のべ人数:1人

グループワークの行い方

- **島嶼過疎地看護論（比嘉憲枝）** 見学のべ人数:1人

教員が一方的に講義を進めるのではなく、学生に教材（論文）の音読をさせたり、質問を投げかけたりすることで、学生自身が「講義に参加している」という意識を持てるような工夫が見られた。また、スライド資料だけでなく、論文や行政機関のウェブサイトなど多様な文献を活用しており、講義内容と社会とのつながりを意識しやすい構成となっていた。

- **グローバルナーシングIII（藤井まい）** 見学のべ人数:11人

学生への定期的な問いかけ・声かけ、ディスカッションや毎回講義後の課題設定について

学生が自ら考える問いかけや、双方向コミュニケーションを基に学生の理解状況に応じた柔軟性ある授業運営を試みたい。

事前学習をした上でディスカッションする中で、気づきを促す声掛けしていたのが、関心の深まりを生んでいる循環がよく見えた。選択科目の強みでもある

ディスカッションの進め方や手掛かりが視覚的に整理されしっかり表示されていた点が大変参考になりました。

講義とディスカッションの時間配分

資料のつくり方（まとめ方）・提示の仕方、講義・ディスカッション及び課題の流れ

質問をしながら理解を深めること、話の速度、スライドのデザイン

授業内にミニクイズのようなものがあり、途中で一度立ち止まって考える機会があるのはよいと思った。

経験談の共有など

増加している外国人労働者の労働安全衛生について、現状の学習を深めたい。

特になし

● 健康情報演習II (PBL) (天願健)

見学のべ人数: 3人

グループで行う内容を、各グループごとにホワイトボードに記載していつでも確認・追記・修正ができるようにしているところ。

PBL学習を実施するにおいて、学生との距離感がとても参考になりました。

学生の自主性尊重

7. 今回の授業見学の成果について評価してください

項目	見学件数
満足	14
やや満足	4
どちらともいえない	2
やや不満	0
不満	0
合計	20

8. 最後に、授業見学強化週間に対する感想・意見・要望等がありましたら、記入してください。

授業見学に参加していたのは私ひとりであり、突然の会議・出張・授業等により、計画どおり見学できない教員が多数いると感じた。そこで、参加しやすい制度とするため、以下の改善を提案したい。

- 1) 短時間参加の公式化 (20分程度) により、心理的・時間的負担を軽減する。
- 2) 見学期間を1週間から2週間以上へ拡大し、業務とのバッティングを減らす。
- 3) 授業の録画・オンデマンド視聴を認め、時間の制約を解消する。

これらのいずれかの方式を導入できるよう、実施要項の見直しを検討してほしい。

多数の先生方が参加できるような仕組み (見学できる授業増、オンデマンド配信など) が必要だと思います。

時間によって見学できない講義があるので、オンデマンドで視聴できる講義があると良いと思いました。

実際に見学できないことが多いので、録画を視聴できるのはいい取り組みだと思います。

藤井先生の授業をオンデマンドで視聴しました。オンデマンドのほうが時間的にも参加しやすいため、今後は見学できる授業形態等を工夫してもいいかと思いました。

遠隔授業で海外に住んでいるため、一つでも録画で授業見学させてもらえる機会があり、とても良かったです。

看護学科は後期は実習で不在者が多いので、効果的な開催時期を検討したい

早めにスケジュールを教えていただければ幸いです。

全員が見学するようにしなければ、見学する目的は達成できないと思います。

異なる分野の講義運営方法について学ぶことのできる貴重な機会だと思います。次年度以降もこうした機会を頂ければ幸いです。

学生が国際的な場で活躍するための視点や知識等講義内容そのものも勉強になりました。

今回参加してよかったです。